



140-0001品川区北品川2-28-19 品川宿交流館3階 TEL03-3471-8610 E-mail:fureai@obachanchi.org http://obachanchi.org/ 発行：2016.01

空家・空き店舗を探しています

ふれあいの家ーおばちゃんち 代表理事 幾島博子

様々な世代の人達が縁側でゆったりとした時間を過ごす様子が描かれているおばちゃんちの家型パンフレット、その外側の面には14年間ずっと次のことが書かれています。

「『おばちゃんち』が募集しています。〈陽の当たる家〉小さくても、暖かな縁側があるような『家』を探しています。赤ちゃんから高齢者までが、ゆったりとくつろいで過ごせる『家』を、この街につくりたいと思っています。情報をお寄せ下さい。」と。

そして今そんな家を探したい！とあらためて本気で思っています。

おばちゃんちは区内全域で様々な活動をおこなっていますが、発祥の地といえばやはり北品川。北、東、南品川周辺には昔ながらの風景が残ってはいるものの、空き店舗も少なくありません。その空き店舗の活用のひとつが2006年に旧東海道にできた「子育て交流ルーム品川宿おばちゃんち」だったわけです（現在は移転しました）。この辺りには、商店街やまちの方々と、新しくこのまちへやってきた人達とを旧東海道まちづくり協議会が繋ぎ融合し、空き店舗を活用したユニークなお店、居場所がいくつもできてきています。全国で今このような空き店舗、空家や古民家のリノベーションによる事業がたくさん生まれてきているようです。大都市だけでなく、地方都市、山間部や過疎地域など、どこにでも「空いてしまった」建物があり、それをすぐに壊してしまうことのできない事情もあるようで、改修や改築をして更にある目的のために社会資源として活用し、行政サービスでは補えない地域課題の解決策のひとつにもなっています。高齢者、障がい者、若者、子育て世帯、あるいはその誰もが、くつろいだり食べたり何かを作ったりケアしてもらったりする場、そんな場づくりが繰り返されています。おばちゃんちの家型パンフレットの姿も、それらと重なって見えます。

品川区内に品川宿おばちゃんち、昭和通りおばちゃんち、北浜こども冒険ひろばの3つの拠点があり、どこもおばちゃんちらしい場になっていると思いますが、さらにもっとおばちゃんちらしい場を作りたいと思っています。

全てがそろってなくても、こんな条件のところ…

商店街や人通りの多い道に面していて、小さなカフェや食堂が似合い、誰もがふと立ち寄りたくなるようなところ。

裏手には縁側があり、子どもが自然に外遊びに誘われるようなところ。

子どもの声を包み込む暖かさがあふれ、小さな子どもを安心して預かれるようなところ。



こんな空き店舗、空き家を探しています。

夢は見るだけではなく、かなえたい。様々なつながりの力を借りればきっとかなえられる！

力を貸してください、情報をお寄せください。

ふれあいの家ーおばちゃんち 2016 イベントカレンダー

おばちゃんちのイベントカレンダーはこちら→ <http://obachanchi.org/ja/schedule.html>

1月24日(日) @荇原文化センター
第4回あそびうたフェスティバル

1月31日(日) @六行会・荇川倶楽部
子どものいのちとこころの話
in品川



2月16日(火) ~
@中小企業センター
冒険あそび場プレーパートナー
養成講座(全4回)



4月 品川宿忍者修業の旅

5月 おばちゃんち定期総会

6月 子育てサポーター養成講座
(仮・予定)

6月26日(日) @スクエア荇原
子ども若者応援セミナー
講師: 坪井節子さん(社会福祉法人カリヨン子どもセンター理事長・弁護士)

8月28日(日) @きゅりあん
にじっこコンサート

出演: 新沢としひこ/ケロポンズ/山野さと子
(予定)

11月11日(金) @きゅりあん
品川子育てメッセ2016

11月 品川宿忍者修業の旅

11月 Nobody's Perfect
~完璧な親なんていない~ (予定)



子どもの育ちと 脳の発達

佐藤佳代子：著



保育サポーター養成講座講師として、長年おばちゃんちに協力してくださっている佐藤佳代子先生。子育てをふっと楽にしてくれる

ヒントが満載です。
文芸社刊 188ページ

ルポ保育崩壊

小林美希：著

いまや保育園入園は両親が正社員であっても狭き門。どの自治体も待機児解消には対策を講じています。そ



んな中、保育現場の実態と質に警鐘を鳴らす辛口の一冊です。

岩波書店刊

239ページ

※電子書籍版もあり

7歳までの お守りBOOK

西野流「ゆる親」のすすめ<上>
西野博之：著

“正しい母さん・父さんを頑張らない。”

NPO法人フリースペースたまりば理事長の西野さんは、川崎市の市立子ども夢パークの所長でもあり、

2014年6月には、おばちゃんちが共催した子ども若者応援セミナーの講師としてきてくださいました。下巻の「10歳からの見守りBOOK」もおすすめです。

ジャパンマシニスト社刊
165ページ



おばちゃんちの本棚

品川に 100人のおばちゃん 見～つけ！

丹羽洋子：著

ここにおばちゃんちの原点がある！子どもの笑顔をまんやかに、ゆるつながりでみんなが暮らしやすい、暖かいまちづくりの秘密が…

ひとなる書房刊
224ページ



子育て Topics

子育て支援員ってどんなもの？

平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、地域の子育て支援の担い手となる人材がますます求められています。そこで、育児経験が豊富で子育て支援の仕事に携わりたいと思っている方や、すでに子育て支援の分野で働いている方を対象に、「子育て支援員※」として養成する研修制度が始まります。※子育て支援員＝東京都などが実施する研修を終了し、子育て支援の分野で働く際に必要な知識や技術を身に付けていると認められる方（東京都webより）

9月から始まった東京都の研修会は、地域保育、地域子育て支援、放課後児童、社会的養護の4コースからなり、参加費は無料で、定員は全コース合計1,360名。内容や履修時間はコースによって異なります。東京都では修了した人を全国で通用する「子育て支援員」と認定するとのことで、定員超過のコースは抽選になりました。

わたしはおばちゃんちの活動にも役立てたくて、「地域保育コース（一時預かり事業）」を受講しました。5日間の座学、心肺蘇生、保育園実習と盛り沢山で、改めて気付かされた事や新たに得た知識は、すぐに役に立ち活かしていけるものでした。これから地域で保育や子育て支援の仕事をしたい方はもちろん、既に従事している方も、次回以降の受講を検討されてはいかがでしょうか！（にった）



第8回 つたえる・つながる・めぐりあうー子どもといっしょに広がる世界...
品川子育てメッセ2015



2015年11月6日、
 第8回品川子育てメッセを
 開催しました。

ご質問お困りごと
 は「メッセコン
 シェルジュ」で承
 りました

今年は、
 今まで以上
 に出展団体
 と共に作っ
 ていくこと
 を目標に、
 事前の説明
 会の時に
 出展団体同
 士の話し合
 いの時間も
 設けまし
 ました。



小ホールは
 希望団体に
 運営から任
 せる、7階
 のイベント
 ホールだけ
 で

6階大会議室「遊びバ」
 では身体を使っ
 て遊んだり読
 み聞かせを楽
 しました



おいでよ

初めて夏から秋に変更しての開催でしたが、今年も実行委員会と品川区、ふれあいの家ーおばちゃんちの三者の共催で、様々な子育て情報や出会いの機会を3000人近くの方々にお届けすることができました。

7階イベントホールでは
 様々な子育て情報
 ブースが出展



なく、6階もすべて
 メイン会場として会場作りをするなど、新しい試みもありました。

赤ちゃんとゆっくり遊びながら座って情報を持って帰ってほしい、お子さんが遊んでいる傍らで情報も入ったらいいな、情報を感じながら食事ができたら嬉しいな...などなど来場者により多くの情報を心地よく持って帰ってほしいという思いからの取り組みでした。50を超える出展団体みなさんが積極

ミニステージでは音
 楽の演奏やミニ講座
 が8つも!



無事終了しました！



6階中会議室では
子育てひろばの紹介
などの布製マップも

的な力添えをくだ
さり、各会場、来場者が楽しみ、ふれあいながら生
きた情報を受け取れるイベントとなりました。

思いの共有があったことで各会場での雰囲気作り
があたたかいものになり、情報が届きやすい方法も
生み出せていたように思います。

足を運んでくださった来場者、関わってくださった
すべての方から、品川の子育て情報やあたたかい思
いが広がっていくことを願っています。



1階小ホールでは
「保育士おとうちゃん」
須賀さんの講演会やオー
ケストラなど

メッセOGや募集を
見て参加して下さっ
た方、育休中のパ
パ、実行委員の友人
や家族など、きゅりあ
ん開催でのボランティアとしては一番多くの方々に助
けていただきました。

情報も子育て環境も変化し続ける現代に、一人で
も多くの方に役立つ情報を届けたいという変わらぬ
思いを形にして届け続けていけるよう、これからも、「共催三者と出展団体とが共に作り上げるメッセ」を目指します。

協賛団体、ご協力者、来場者も一体となって、子
育てを応援していく子育てメッセを開催していきたい
と思います。さらに成長する品川子育てメッセを今
後ともよろしくお願い致します。（よしなか）

0・1・2

6階中会議室「ねんね赤
ちゃんわくわくひろば」
として産前産後の過ごし
方などの紹介

また、準備から当日
まで、出展団体に加
え、40名を超えるボラ

ンティアの方々
にもご協力いた
だき、あたたか
く、安心できる
場づくりができた
した。



「公園マップ」を真剣
に見入る方も多かっ
た！

「品川子育てメッセ2016」は、
2016年11月11日（金）
きゅりあんにて開催決定！
実行委員募集などの詳細はHPをご覧ください。（品川子育てメッセで検索を）
参加団体も一緒につくりあげていく子育てメッセを、もっと楽しんでみませんか？

子どもとモノの 豊かな出会いを 保証する場所

北浜こども冒険ひろば
プレイワーカー 宮里和則



▲写真1: Palmerston Primary School

子どもはモノと出会い、想像力をかき立てられ、遊びやアートを生み出していく。だから子どもにたくさんの素材との出会いを保証することはとても大切なことだと思える。こんな素材がたくさん集められ子どもたちに提供されている場所がある。

ウェールズ 「プレイリソースセンター」

ウェールズは子どもの遊びの法律がある世界で唯一の国である。子どもが生活する場所は遊びの質を高めなければならないという法律である。2015年2月に視察したPalmerston Primary Schoolはその取り組みの一つとして「プレイリソースセンター」と提携し、プレイポッドという倉庫を置いていた。昼休みには子どもたちがそこからさまざまなガラクタ(大人の目から見れば)を引きずり出し、遊びに興じる姿を見ることができた。(写真1)



▲写真2: Cardiff Play Resource Centre(前景)

この素材を提供しているのが「プレイリソースセンター」である。(写真2) 1ユーロを払えばだれでも会員になることができ、このセンターで様々な素材

を安価で購入することができる。この素材は企業の廃棄物を集めたもの。危険なものは取り除き、必要なものは消毒がされている。雑貨屋のような雰囲気でもまさに遊びの素材があふれかえっている。このセンターを歩き回るだけでも、想像力が刺激されてきた。(写真3) NPOが運営しており数人のスタッフとたくさんのボランティアの手により運営されている。様々な場所に出向きこの素材を使ったワークショップも行っているとのこと。ウェールズには同じようなセンターがいくつかあり、3ヶ月ごとに素材の物々交換をして、いつも新しい素材と出会えるように工夫しているとのことだった。



▲写真3: Cardiff Play Resource Centre

レッジョ・エミリア 「レミダ」



▲写真4: Remida (前景)

イタリアのレッジョ・エミリア市にも同様なものがある。この市には、レッジョエミリアアプローチといわれる世界が注目する40年にわたる

教育アプローチがある。各幼稚園にアトリエリスタ(美術専門家)とペダゴジスタ(教育専門家)というプロフェッショナルスタッフが配置され、保育士といっしょに子どもの創造的活動を支援していることが特徴である。その教育を支えるものとしてあるのが「レミダ」である。(写真4)

大きな倉庫にたくさんの素材がぎっしり。ここの素材も市の工場や会社から集められた廃棄



物である。素材ごと、色ごとに分類され、大切に美しく並べられ、まるで博物館のようでもある。素材は無料で提供され子どもたちの想像の核となっていくものである。2015年10月に視察した幼稚園や小学校ではこの素材を使ったアートや教育活動を様々に見ることができた。



※レッジエミリアアプローチは写真撮影が禁止されていますが、レミダでは特別に許可を得て撮影しました。(宮里)

東京・品川「ナカダイ モノ：ファクトリー」

<http://monofactory.nakadai.co.jp/>

こんな場所を日本にも作りたくと話していたところ、日本にも同じような場所があることが分かった。なんとおばちゃんち事務所のすぐそば(自転車です5分・青物横丁



駅そば)。それも株式会社が運営しているという。まるで家の中にいた青い鳥を見つけたような思いであった。さっそく出かけてみることにした。

とても美しく配置された素材たち。第一印象は「東急ハンズ」のようだと感じた。(写真5)さらに驚くことに、これは企業の社会貢献ではなく、全くの事業であったことだ。ここを運営している廃棄物中間処理業者の株式会社ナカダイは廃棄物を処理するというですでに仕事として成り立っている。その過程で出てきたものを、このファクトリーで販売している。そして売れ残ったものは100%のリサイクルされるという。先に紹介した施設と違うのは、工場や会社から廃棄物を集めてくるのではなく、企業が作りすぎたしまったものや型落ちしたもの試作品など一度も使ったことのないもの(新品)が廃棄物としてやってくるのだらう。だからファクトリーは上の二か所と比べると、素材がとてもきれいで、若干値段が高い。今のターゲットはどちらかというアーティストのように思えた。

しかし先のレッジエミリアアプローチをベースにした「まちの保育園※」(東京)ではナカダイと提携し、子どもたちが自由に素材とかかわる環境を作り出している。また毎年ナカダイ主催の「産廃サミット」で行われる「まちの保育園」のスタッフによる教育者向けワークショップは大きな反響を呼んでいる。

※まちの保育園
<https://machihoiku.jp/>

▼写真5:
ナカダイモノ：ファクトリー





おばちゃんち かつどうよてい



おばちゃんちからのお知らせは、twitterやfacebookでもチェック！ <http://obachanchi.org/>



おばちゃんちのふたつの子育て交流ルームでは、毎週月曜日にふれあい広場を開催しています。どうぞ親子でおでかけください。栄養士による食育相談、保育士、臨床心理士、社会福祉士による相談などもおこなえます。

- 1.開催日：毎週月曜日（祝日を除く）
- 2.時間：11時から15時
- 3.参加費：1家族100円

「みこちゃんち」

会場：品川宿おばちゃんち
(北品川2-19-6)

「しょうちゃんち」

会場：昭和通りおばちゃんち
(西中延2-18-1)

「北浜こども冒険ひろば」

- 1.開催日：月～土曜日（祝日を除く）
- 2.時間：14時から18時
※第1・3水曜日は11時～
- 3.会場：北浜公園・北浜こども冒険ひろば（北品川2-28）
- 4.参加費：無料

☆北浜だよりを月初めに発行、近隣区立小学校などと品川区内の児童センターで配布しています。

ほっと・サロン@八潮「にじっこ」

- 1.開催日：祝日を除く毎週木曜日
- 2.時間：13時から15時
- 3.会場：こみゅにていぶらざ八潮1F託児室（八潮5-9-11）
- 4.参加費：1家族100円（初回無料）



「荏原すきっぷひろば」

- 1.開催日：祝日と第3を除く毎週月曜日
- 2.時間：10時30分から14時30分
- 3.会場：荏原区民センター集會室（荏原5-6-5）
- 4.参加費：無料

※一部イベント等に実費負担あり
☆協力：品川SKIP編集委員会
✉ skip@obachanchi.org

「大崎にこにこるーむ」

- 1.開催日：祝日を除く毎週月曜日
- 2.時間：10時30分から14時30分
- 3.会場：大崎三五町集會室（大崎5-2-1）
- 4.参加費：無料

※一部イベント等に実費負担あり
☆協力：にこにこぽつけ
✉ nikoniko@obachanchi.org

ほっぺ

子育て交流ルーム
「品川宿おばちゃんち」
tel.03-5463-6458
北品川2-19-6

わっこ

子育て交流ルーム
「昭和通りおばちゃんち」
tel.03-5749-3212
西中延2-18-1

月曜から土曜までの、9時から17時までやっています（土曜日は預かり状況で変更することがあります）。おばちゃんち年会費2500円で両方の施設をご利用いただけます。4時間以内の基本保育料は品川区在住在勤の方は1時間500円で、延長保育は1時間600円になります。区外在住の方等、詳しくはお問い合わせ下さい。

あずかり
広場

サポーター派遣保育

えくぼ

自主サークルや団体が講座や講演会などを行っている間のグループ保育に、おばちゃんちの認定保育サポーターを派遣します。活動の主旨などにより利用条件が異なります。詳しくはお問い合わせ下さい。

会員情報 (11月30日現在)

正会員	37名
支援会員	427名
賛助会員	6名
470名	

年会費・ご寄付は

郵便振替
00120-3-583720
NPO法人ふれあいの家-
おばちゃんち

ご寄付ありがとうございました (11月30日現在)

和合垂沙美様 木野敦様 木村一充様 児玉圭子様 山田巴様 川田修様 金子正秀様
平山真佑美様 荒井恭子様 山本結子様 田代恵美子様 チーム豊田様 アサヒビール株式会社 イオンリテール株式会社 匿名希望数名様(順不同)